

将来計画検討小委員会

- **委員会の任務：**

10年以上の将来を俯瞰してわが国の将来計画を検討し、2年後を目途に答申案を高エネルギー委員会に提出する。また世界的な状況の変化に応じて中間答申やテーマを絞った提言などを行う。将来計画としては、物理の重要性、国際的な動向を踏まえ、加速器を用いた実験は勿論のこと、非加速器素粒子実験も含むものとする。

- **委員の構成（19名）：**

浅井祥仁（東大）、飯嶋徹（名大）、石井恒次（KEK）、井上邦雄（東北大）、後田裕（KEK）、大西幸喜（KEK）、久野純治（名大）、栗木雅夫（広大）、小林隆（KEK）、田窪洋介（東北大）、中家剛（京大）、野尻美保子（KEK）、野村正（KEK：幹事）、羽澄昌史（KEK）、花垣和則（阪大：幹事）、村山斉（東大）、森俊則（東大：委員長）、諸井健夫（東大）、山下了（東大）

<http://www.icepp.s.u-tokyo.ac.jp/hecsubc/>

これまでの委員会

忌憚なき議論をするため議事録は非公開
(報告スライドは今後公開予定)

- **第一回（2009年5月9日）：**
議長・幹事を互選。委員会の主旨・意義について議論。委員会の進め方について議論：2ヶ月に一度行う、議事録は非公開、まずは分野全体を俯瞰する（LHC、ニュートリノ、B、...）、タウンミーティングも検討。
- **第二回（2009年6月27日）：**
LHCについて議論（報告：浅井、花垣）
- **第三回（2009年9月5日）：**
ニュートリノ研究（+ダークマター直接探索）について議論（報告：村山、小林、塩澤、丸山、中家、中畑、末包、井上、小川、森山、吉田、笹尾）

- **第四回（2009年11月7日）：**
Bファクトリについて議論（報告：岡田_安、西田、飯嶋、大西、後田）
- **第五回（2010年1月23日）：**
国際リニアコライダー（ILC）について議論（報告：山下、松本_重、村山、山本_明、早野、栗木、山本_均、田窪、竹下）
- **第六回（2010年4月10日）：**
宇宙観測を通じた研究について議論（報告：諸井、杉山_直、羽澄、田島治、村山）
- **第七回（2010年6月12日）：**
Kaon・muon・中性子に関する研究について議論（報告：三原、野村、吉岡_瑞）
- **第八回（2010年8月2日）：**
LHCを始めとする今後2～3年の「発見シナリオ」を議論、委員会の今後の進め方について議論

10年以上先を俯瞰した将来計画 = LHC後

LHCアップグレード、ILCなど、既に動き始めており、決して先の話ではなく、**迅速でタイムリー**な対応が必要。

そのため今後は世界的な状況の変化に応じて（最終的な答申を待たず）**積極的に提言をしていく**ことが求められている。

そのためにもコミュニティ・高エネルギー委員会との連携を強化していく必要がある。

- 今後の予定

- ▶ 年内に「提言」、それを受けて春の学会で「タウンミーティング」。来年中（なるべく早く）に最終答申。